

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	教養フロンティア
								必修・選択	必修
使用教材	教科書	Vision Quest Expression II Hope (啓林館)							
	副教材	Vision Quest English Expression II WORKBOOK Hope (啓林館) Vision Quest English Expression I Standard (啓林館) Vision Quest English Expression I Standard Workbook (啓林館) Vision Quest 総合英語 (啓林館)							

### 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次で学習した内容をさらに深め、英文法の様々な決まりを理解し、英文を適切に「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を高める。</li> <li>・授業で学習した英文法を活用し、自分の考えを英語で表現することを通して発信力を養う。</li> <li>・様々な英文に触れ、その文法構造を理解し覚えていくことを通して、物事を体系的にとらえ記憶する力を身につける。</li> </ul>
--

### 学習方法

年間を通じて英文の構造や英文法の理解を目指し、スピーキングやライティングなどのアウトプット活動を通じて学習項目の定着を図る。合わせて、音読やペアワーク・グループワーク等を通して、文法項目の基本的なスキルを身につける。
--

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。	
<b>①関心・意欲・態度</b>	モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとしている。間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
<b>②思考・判断・表現</b>	学んだ文法を使って文章を書くことができる。自分のことや与えられた課題について書く、または話すことができる。紹介するトピックを決め、発表することができる。
<b>③技能</b>	既習の語彙、英文法を基礎として、習得した文構造を英文の読み取り、リスニング、英作文やスピーキングに活かすことができる。
<b>④知識・理解</b>	様々なトピックについて内容を理解することができる。それぞれのページで学んだ文法を理解している。学習した文法を理解し、知識として定着させている。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
授業自己評価	◎				毎単元終了後授業に対する取り組みを自己評価する
テキスト問題/小テスト	○	○	◎	○	単元終了時
定期考査	○	◎	○	○	
英作文	◎	◎	◎	◎	単元終了時
スピーキング活動	◎	◎	◎	◎	Use itなどを使用
課題等	◎	○	○	◎	ワークブックや長期休業の課題・宿題

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

### 学習方法等のアドバイスなど

授業で学ぶ内容は1年時よりもさらに複雑になります。授業後の復習に重点を置き、その日に習った内容で分からないことがあればしっかりと確認をしてください。問題を解く際には、教科書や参考書を参考にしながら、自分の力で一度解いてみるようにしましょう。途中で分からなくなる場面もあるかもしれませんが、複雑な文法は基本的な文法が組み合わさって作られているものがほとんどです。中学校や高校1年で習った文法のルールを忘れていた場合には、再度復習をしながら学習してください。
---

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間			
2 学期 30単位時間	<p>導入では教科書のModel Conversation等の様々なテーマや状況の会話を聞いたり読んだりして、文法や表現を意識しながら言語活動を行う。Build-Upで文構造や文法の理解を深め、教科書のPracticeやWorkbookなどの問題を解きながら学習内容の定着を図る。また、学んだ文構造、英文法を使用して、英作文やスピーキング活動を行う。</p> <p>主な言語材料 不定詞 / 動名詞 / 分詞 / 関係詞 / 比較 / 仮定法 / 主語の決定 / 自動詞と他動詞 / 使役動詞 / 知覚動詞 / 主語と動詞の呼応 / 時制の一致など</p>	<p>英文法学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p>	<p>【学習活動】 与えられた話題について、話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p> <p>【評価方法】 毎週行う授業自己評価 英作文 スピーキング活動 単元の終了時に行うテキスト問題又は小テスト 定期考査・課題等</p>
3 学期 18単位時間			